

# ツナグ！芝公園-SDGs村-開催 魚食普及、MELが出展

10月30日～11月1日、東京港区芝公園において、(株)SOUL FOOD JAPANが主催する「2020なんでもツナガル！芝公園-SDGs村- / Immunity! Shibakoen-SDGs Village-」が開催された。コロナ禍で苦悩する日々でも、みんなで前を向き、「芝公園でつながる」をコンセプトに、芝公園を、SDGsが持つ「人を優しく癒してくれる」側面を象徴するものの一つとして捉え、公園環境を活かしたイベント。

当初は今年開催予定であった東京オリンピック／パラリンピック2020の開催時期に併せ、「芝公園」が、世界中のあらゆる人がつながり合える場所に。”として、公園の7ゾーンにて、世界中からの来日観光客を迎えて、日本の魅力を伝えながらSDGsを促進する文化活動を展開する予定であったが、オリパラが来年に延期となった事により、今年2021年へツナグ！プレ開催となった。コロナウイルス感染症による様々な活動自粛により、開催もおおのずと制限を余儀なくされたが、「新しい生活様式で楽しむ公園」～フィ



水産資源を未来へツナグ、MELのブース

ジカルディスタンス、マスク着用という新しい日常が、どのように公園にアクティベーションを行えるかを模索する～というコンセプトの下、多くの企業の協力が集まった。

開催初日、暖かい秋空の下、会場となった芝公園の8号地には、多くの家族連れが訪れた。とりわけ国連SDGsキャラクターであり、いつもみんなを笑顔にしてくれるハローキティのサンリオは、『「Hello!」と言い合える世界に。』をキャッチフレーズに、2回にわ



キティちゃんによるSDGsミニステージは人気



ちょっと一息 CANAL CAFE



拙筆屋氏トークショー

たって♪サンリオSDGsスペシャルミニステージを開演。多くの子供たちがショーを楽しんだ。

翌日は本誌に連載を寄稿いただいている拙筆屋万次郎氏がトークショーを行ったほか、馬頭琴の演奏等、2日間にわたり様々なイベントが開催された。その他、ベイエリアの水上交通を担う東京ウォータータクシー、越後製菓の他、三味線、東京和楽器、芝浦商店会運営SHIBAURA CANAL CAFEなど、SDGsを合言葉に実に多彩な業種からの出展があった。

本会からは魚食普及協議会が「おさかなぬりえとSDGsくじらぬりえ」を提供、多くの子供達がぬりえを楽しんでいたほか、(一社)マリンエコラベル協議会が出展した。

主催者のSOUL FOOD JAPAN武田佳代表は、「とうとう開催することが出来ました“2020なんでもツナガル！芝公園-SDGs村-”



(一社)全国古民家再生協会による鴨長明「方丈庵」の住処再生



くじらぬりえを楽しむ子ども達

ではおさかなぬりえが693人もの子供達に広がり、大変喜んでいただけました。貴会の出展ブース関連では大日本水産会、長岡英典理事や早武忠則魚食普及センター事務局長にもご協力いただきました。また、シーフードショーでお声かけしましたマリンエコラベルジャパン、小林由香里様、冠野尚教様には素敵なおさかなのイラストが入ったエコバックを配布していただき、早速、近所のスーパーで使用している方をお見かけし、とても嬉しくなりました。」と、来年開催される本番に向けて、まずまずの手ごたえを感じているようであった。

来年の『ツナグ！芝公園-SDGs村-』については、次のHPを参照。

(<http://soulfoodjapan.jp/about/>)



東京ウォータータクシー、模型の船を紹介